

組成分析調査と組み合わせた「キエーロ」活用モデル事業

1. 概要

土の中のバクテリアの働きによって、生ごみを分解する消滅型生ごみ処理容器「キエーロ」は、令和2年度から市民モニター事業を開始し、これまでに400名以上の方に参加いただいています。

今回のモデル事業は、「キエーロ」の生ごみ減量効果について、モデル地区で集中的に使用した場合にどの程度ごみの組成に変化があるのか、検証するものです。

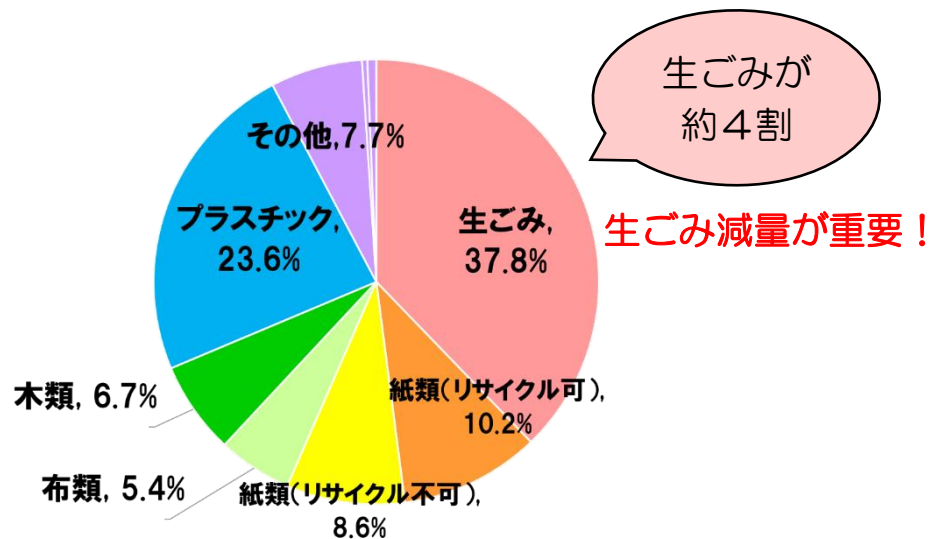
「キエーロ」・・・電力を使わずに、土の中のバクテリアの力で生ごみを分解する消滅型生ごみ処理容器
においや虫の発生が少なく、比較的簡単に生ごみの減量に取り組みます。



「組成分析調査」・・・地域を選定し、複数のごみ集積所から燃やせるごみを回収し、ごみの組成を調べています。



一般廃棄物組成分析調査（家庭系）の結果（H27～R3）



2. モデル地区

上松原町会（世帯数：1,450 戸、集積所：87 箇所）

3. 進め方

- ①キエー口配布を希望する世帯の募集（6 月～）
- ②応募状況から調査する集積所を選定（7 月中旬）
- ③組成分析調査を実施（7 月下旬）
- ④希望世帯にキエー口を配布（8 月上旬）
- ⑤組成分析調査を実施（8 月下旬）
- ⑥結果を検証し町会へ提供（11 月）

配布前後の生ごみの割合
を比較し効果検証

4. 応募者数

58 世帯（調査集積所を 16 カ所ピックアップ）